

地域交通フォローアップ・イノベーション検討会：資料



ぐるっと生瀬運行協議会
平成30年11月22

1. 生瀬の現状

(1) 地形

- ・生瀬は、西宮市の北東に位置し、南北を山に囲まれた谷あいにある。中央を東西に武庫川が流れ、それに並行するように中国自動車高速道、国道176号線、JR福知山線が走っている。
- ・町は横長で東は宝塚市に隣接し、生活文化は宝塚に依存している。宝塚は京都、大阪、神戸に電車で30分程度で行ける一にあり、買い物観光の環境としては恵まれている。
- ・地域によっては150m～200mの高低差がある斜面に位置し、急坂や階段が多く、また災害警戒区域もある。
- ・国道の拡幅工事、狭量部を拡幅する河川工事、橋の架け替えが同時進行中で、近い将来は生活環境・道路事情が一変することが予想される。

(2) 人口

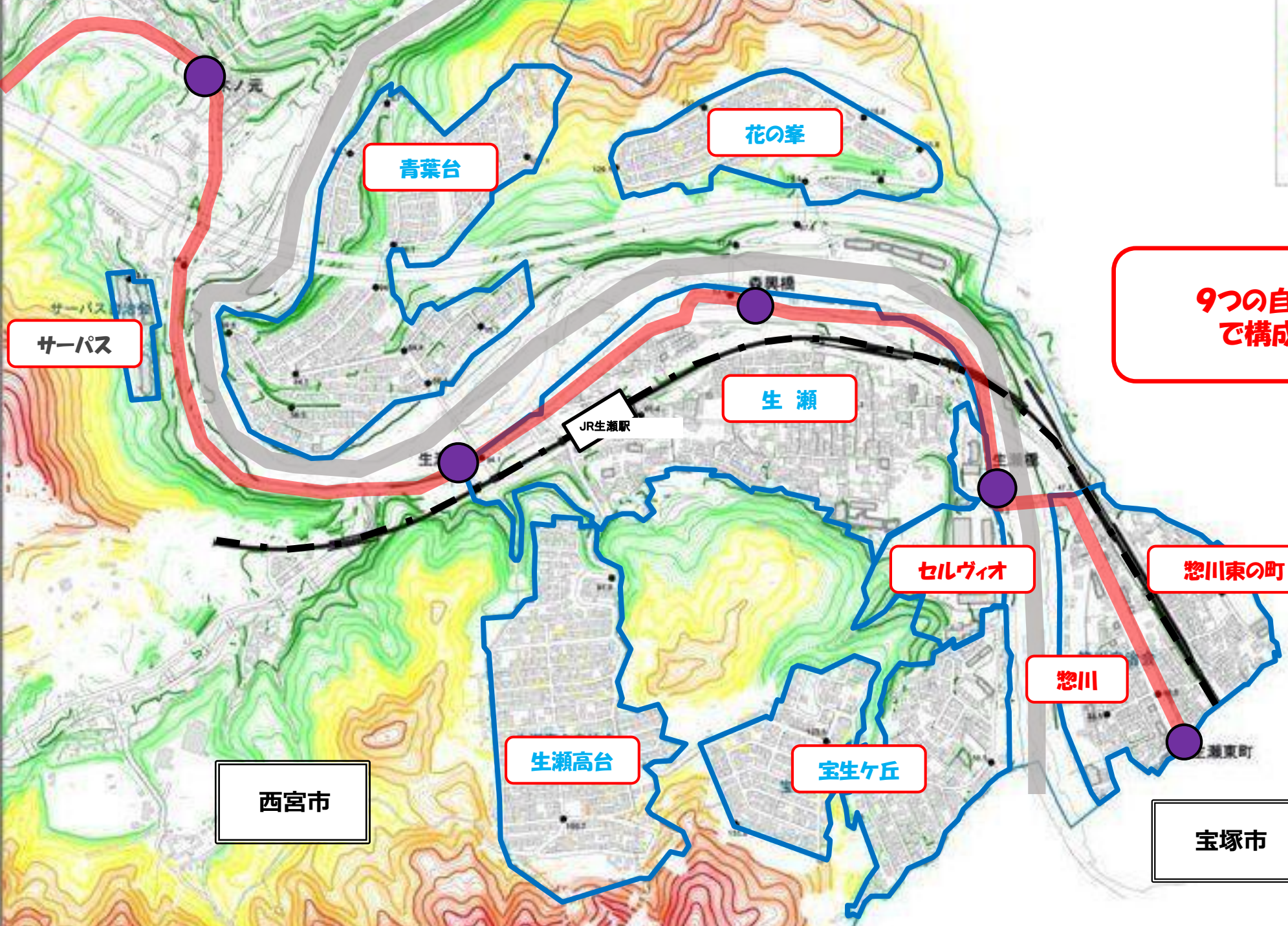
- ・平成30年3月31日現在、8町9自治会には3765世帯に8698人が居住している。
- ・高齢化率は29.9%で市内でも高く、特に花の峯50.2%、青葉台は41.%などは市内でも最高位にある。空き家も多く、高齢者や独居数が急増してきている。

(3) 交通事情

- ・地域内には、JR福知山線の普通電車が停車するJR生瀬駅、阪急バスの停車駅が3ヶ所あり、鉄道・バスのいずれも15分程度の間隔で走行しており、比較的便利な地域にある。
- ・有馬街道の宿場町として栄え、文化財の保存地区として中心街は道路は狭いままである。
- ・大部分が斜面に居する4自治会の住民は、公共交通機関が利用困難で早くから地域交通の需要が高まっていた。
- ・地域内には、社会福祉協議会のボランティアグループが運営する“カーボランティア”もあり、交通困難者のみ登録が可能で、往路のみを実費程度の負担で利用できる。
- ・梅雨時は河川の氾濫が多く、電車バス等の交通がストップすることが多い。



9つの自治会で構成!



サーパス

青葉台

花の峯

生瀬

セルヴィオ

惣川東の町

惣川

生瀬高台

宝生ヶ丘

西宮市

宝塚市





惣川東



惣川



セルヴィオ



宝生が丘



生瀬



高台



花の峯



青葉台



サーパス

9
つ
の
自
治
会
心
は
一
つ

2. 事業のあらまし

(1) 運営主体 ぐるっと生瀬運行協議会(地元の理事、常任理事で構成)

(2) 目的 交通困難対策としての運行事業と地域の活性化事業を2大目的とする。

(3) 会議 理事会(年2回)、常任理事会(毎月)
・理事(各自治会、関係諸団体の代表)
・常任理事(理事の経験者、理事長の推薦するもの)
・市、交通事業者、学識経験者はアドバイザーとして毎回参加

(4) 運行事業
西宮市、阪急タクシー株式会社、地元の3者で協定書を交わし、安全安心で継続的な運営を期す

①) 委託交通業者 阪急タクシー株式会社

②) 運行計画(I期) 平成27年10月1日～平成30年9月30日

・運行日 平日を基本とする(土日、祭日、1月の3ケ日は運休)

・路線 高台、宝生が丘、青葉台、サーパス花の峯、花の峯、花の峯サーパスの変則6ルート

・便数 1日5便 合計20便(サーパスルートは当面2便)

・使用台数 10人乗りジャンボタクシー1台(途中から14人乗りコンピューターに変更)

・運賃 大人300円、小学生200円、回数券11枚綴り3000円を販売

・運行時間 8:30～19:30

(5) 運行経費は利用者の運賃を原則とするが、収支率が100に満たない場合は市の公的補助で賄う

3. 事業の経過

- H18 一自治会で交通困難者に対する支援を計画。先進視察や市への度重なる要望を上げる。
- 21 有志8人がマイカーでカーボランティアを実施、4ヶ月間で510人が利用。
* 組織的な支援が得られず継続を断念、市や生瀬9自治会長連絡協議会(連協)に対応を再度要請。
- 23 市で調査費が計上され、連協より地域交通の在り方について諮問する研究会が発足。
* 研究会には9自治会中、5自治会の代表が参加、アドバイザーの助力を得て18ヶ月間で答申を作成。
- 25 ぐるっと生瀬運営協議会(準備会)を発足。
* 連協のほか地域内の関係諸団体、自治会の代表で構成、運行事業だけでなく生瀬地域全体の活性化という2つの目標を掲げることによって、9つの全自治会の協力が得られた。
* 市、交通事業者、大学・企業、地元の四者連携による2回の有料コミュニティバスの試行運行を実施。
- 27 規約を定めて正式に運行協議会を発足、10月1日本格運行開始。
* 試行時はオープニングセレモニーを駅前で、本格時は開始式を運行の安全と永続的な経営を祈念して儀式として地元の神社で厳粛に行う。
* 1年目から利用者数は順調で、目標をはるかに上回る。
- 28 国土交通大臣賞を受賞
* 地域住民が計画段階から主体的に関わり、住民の目線で背丈にあった持続可能なコミュニティバスの運行と、魅力的で活力ある地域の形成を目指した
県知事賞を受賞(まちづくり賞)
- 29 西宮市長賞を受賞(魅力あるまちづくり)
- 30 総務大臣賞を受賞(ふるさと大賞)
Ⅱ期による新運行計画を策定
* 積み残し対策と運行開始当初より要望の高かった遅い時間帯の増便を4年目にして初めて行う。

4. 事業の特色

(1) 運営協議会の2つの目標

① 運行事業の永続と安定した経営

- ・過度に公的支援に依存しない(財政危機の中でも運行可能な体力)
- ・利用者にも経営感覚を(公共交通機関より高く、距離に関係なく均一な料金設定)

② 生瀬地域の活性化

- ・9自治会の緊密な連携(自治会活動の活発化)
- ・美化清掃や伝統文化の復活

(2) 地元主体の運営

① 運行計画の作成と地域説明会

- ・ルート(2地域の不公平感を説得)
- ・ダイヤ(パターンダイヤの工夫)
- ・停留所(総論賛成、各論反対の住民説得。同意書)
- ・料金(利用者もスタッフも みんなで汗をかく)

② 遅延や運休等の連絡案内

- ・事故渋滞等には可能な限り停留所廻りをして現状を伝える
- ・凍結等で運休の際は停留所に掲示

③ 苦情相談忘れ物等の対応

- ・時刻表に連絡先を記載、終日電話対応する
- ・財布、杖、食材などの忘れ物はその日のうちに届ける

④ 会報の作成、HPの管理

- ・会報は運行情報のほか、地域コーナーで毎号トピックスを掲載

(3) 利用促進活動

① 本格運行前から

- ・ 隔月ごとの会報の作成配布
毎月編集員会を開催、地域情報の収集
- ・ 学校園訪問による児童生徒保護者へのPR
全校朝礼時、保護会、生徒会
- ・ 地域行事への参加
- ・ プレスリリースの徹底
会報、時刻表の送付、取材依頼

② 本格運行後も

- ・ ユルキャラの公募、作成(全部手作り)
地域の盆踊り、餅つき大会、神社における大晦日のカウントダウン、秋祭りの山車の先頭
ハロウィン、市内外のマラソン大会、小中学校の運動会
- ・ ぐるっと生瀬音頭の作詞作曲、CD化
地域の盆踊り、敬老会、文化祭で披露、各自治会に配布
- ・ 月初めの駅前キャンペーン
乗降者の支援とスタッフの緊張感の持続のため
- ・ 広告契約のための訪問
- ・ 不動産業者との連携
チラシにコミュニティバスの運行掲載依頼
- ・ 地域交通や特色ある地域づくりに取り組む先進地域と積極的に交流
マンネリの打破、新しい企画や人材育成法のノウハウ、モチベーションや情熱などを学ぶ

PRソング・音頭の制作

ぐるっと生瀬音頭

なまぜ おんど

1. 生瀬音頭が始まるよ(アソレ)
さあさあみなさんよっといで
楽しくぐるっと輪になって
今宵はみんなで踊りましょ
*ハイハイハイハイハイ
2. 生瀬 惣川 花の峯(それから)
惣川東町 青葉台
自然いっぱいこの町を
ぐるっと笑顔でつないでいる
3. 生瀬高台宝生が丘(まだまだ)
ラララセルヴィオサーパス
ぐるっとまわりを見渡せば
優しさ楽しさあふれてる

1. 生瀬名物数々ござる 皇太神社に浄橋寺
ぐるっと生瀬もできました
*ぐるっとぐるっとぐるっとぐるぐる ぐるっとぐるっとぐるっとぐるぐる
くらしのバスが今日も行く
2. 太閤秀吉有馬の湯まで 駕籠で通った宿場町
ぐるっと生瀬も通ります
3. 暴れ大川武庫川に 架かる3つの橋がある
ぐるっと生瀬も渡ります
4. 生瀬にや自治会9つござる みんなの心は一つです
ぐるっと生瀬がつなぎます
5. 鉄腕アトムが空を飛ぶ 歌劇で名高い宝塚
ぐるっと生瀬のターミナル
6. 買い物 病院 用事はいつも 健康支える外出も
ぐるっと生瀬が便利です
7. さあさあ歌おう みんなで踊ろう 今日のはめでたい祭りです
ぐるっと生瀬の音頭です

5. I 期(平成27年10月～平成30年9月)3年間の実績

(1) 運航日総数 722日

(2) 運休日 3日(路面凍結、台風の影響による運休2, 5日、地震による運休0. 5日)

(3) 利用者数

| | | | |
|------|-----------|-------------|-------------|
| ・1年目 | 運行日数 246日 | 利用者数 20599人 | 1日平均 83. 7人 |
| ・2年目 | 246日 | 23220人 | 94. 4人 |
| ・3年目 | 244日 | 23921人 | 98. 0人 |
| ・合計数 | 運行総日数736日 | 利用者総数67740人 | 1日平均 92. 0人 |

(4) 目標達成率

| | | | |
|------|----------|-----------|----------|
| ・1年目 | 目標 1日70人 | 実績 1日 84人 | 達成率 120% |
| ・2年目 | 85人 | 94人 | 111% |
| ・3年目 | 100人 | 98人 | 98% |

(5) 収支率

| | |
|------|--------|
| ・1年目 | 88. 0% |
| ・2年目 | 88. 9% |
| ・3年目 | 96. 5% |

(6) その他

ルート・便数によっては、ほぼ毎日満員、積み残しの状態が続いた。

6. 利用者の声

- ダイヤにあわせて利用していると、生活が規則正しくなり、医師より以前より健康的になったといわれる。
- 外出が苦にならなくなって、午前も午後も出かけるようになった。
- バス友ができ、食事や買い物の約束をするなど、毎日が楽しくなった。
- 転居以来自分の地域しか見たことがなかったけど、巡回バスで他の地域の様子が分かってとてもよい。
- マイカーより安全で安心、さらに便利で経済的である。(マイカーは意外と不自由に感じるようになった。)
- 高齢で独居のため、子どもが同居を勧めるが、バスに乗れる間はこの地で頑張りたい。
- 移動販売車が来るが、店に並ぶ多くの商品の中から選びたいから、バスで買い物に行く。
- 雪の日は家族が反対するが、バスが待っている気がするから、靴に滑り止めの縄を巻いてでも乗りたい。
- 降雪の日はタクシーが乗車拒否をするが、バスがあるから今は安心である。
- 乗らない人は高いというけど、タクシー代に比べると今の料金は決して高くない。
- 永久的に継続運行できる料金設定にしてもかまわない。

- 停留所の数を増やしてほしい。
- フリー乗降ができるようにならないか。
- 休日も運行してほしい。
- 料金は段階的(距離や地域別)に設けるべきだ。
- 委託運行事業者も交代制で行ったらどうか。
- 地域を公平に巡回するようなルートにしてほしい。
- 障がいのある人も利用できるようにできないか。(介助者は半額にするべきだ。)

7. 新事業計画（Ⅱ期）

- (1) 運営主体 ぐるっと生瀬運行協議会
- (2) 運行期間 平成30年10月1日～平成33年9月30日
- (3) 委託交通業者 阪急タクシー株式会社(1期に引き続き)
- (4) 運営方針 住民の生きがいや暮らしの足として持続可能な運行にするために、啓発や利用促進活動等に創意工夫を凝らし、さらには地域活性化の一助としての社会的なニーズに応えるべく運営を目指す。
- (5) 目標 (1) 1年目 利用者数110人(収支率 80%)
 (2) 2年目 利用者数120人(収支率 90%)
 (3) 3年目 利用者数130人(収支率100%)
- (6) 運行計画(Ⅱ期)
 - (1) 運行日 平日を基本とする(土日、祭日、1月の3ケ日は運休)
 - (2) 路線 高台、宝生が丘、青葉台、花の峯および花の峯サーパスの変則5ルート
 - (3) 便数 1日6便 合計24便 (花の峯サーパスルートは当面2便)
 - (4) 使用台数 原則1台 その他予備車を使用
 - (5) 運行系統 1) 生瀬高台ルート (5.9km) 17分 6便
 2) 宝生が丘ルート (5.6km) 17分 6便
 3) 青葉台ルート (7.5km) 23分 6便
 4) 花の峯ルート (7.0km) 16分 4便
 5) 花の峯サーパスルート (9.4km) 21分 2便
 - (6) 運賃 大人300円、小学生200円、回数券11枚綴り3000円を販売
 - (7) 運行時間 8:30～19:30
 - (8) 時刻表 別紙

(7) I期3年間は支出を控え、Ⅱ期になって要望に応じて増便を決行。

8. 総括

成果として

(1) 利用者が年次ごとに増加し、同様に収支率も良好で、運行は極めて順調といえる。

① 運行計画(ルート・ダイヤ・停留所・料金)が立地条件に適していた。

・どの地域も90分間隔で、15分程度の乗車で宝塚に行けるという便利さが好評である。

② 行政だけに依存せず、利用者もともに汗をかくという料金設定が理解されつつある。

③ 利用層が確実に広がってきている。

・当初は上り坂だけという人も、慣れるにつれて下りも利用するようになったという声が多くなった。

・通勤通学や子どもの習い事の行き帰りの乗車も増えるなど、若年層に広がりが顕著である。

・駐車料、事故、違反等のわずらわしさを考慮すると、マイカーより便利であり、免許書返納が増えている。

・集金や勧誘、病院や商店を訪れる地域外の利用も結構あり、利用率の向上につながっている。

(2) 運営も大過なく安定している。

① 利用者と同じ住民がサポートしているので多くのことに理解が得られやすい。

・遅延や運休のお知らせ、運行計画の説明会、配布物の依頼、迷惑駐車の説得、その他

② 苦情や相談には終日応じられる体制になっており、安心感、気遣いがあるのか苦情トラブルが少ない。

課題として

① 幅員の関係で現行のバス運行が限界であり、満車状態・積み残しに対応できていない。

・ルートの見直し、増便、車両の改造などの検討。

② 人材育成、新規確保が困難である。

・運行実績が順調なだけに運営理事の危機意識が少なく、個々の意識にも格差が大きい。

③ 休日運行、段階的な料金設定、フリー乗降の要望などの声も根強く残っているほか、ICカードの導入や回数券販売所など乗務員の負担軽減措置も検討中である。

○学校園との連携

- ・中学2年生によるトライやるウィークの推進



- ・幼稚園児のバス試乗



- ・缶バッジ(保育所、幼稚園、小学校が独自に図案)を配布
* 全児童園児の前で授与式





小学校の全校集会

小学校の全校集会



中学校のシンポジウム



幼稚園の子ども達と保護者



○自治会、関係機関と連携

- ・イベント時における抽選会の景品に乗車回数券の使用を依頼
- ・運動会、文化祭、盆踊り、祭り、餅つきなどの行事におけるユルキャラの参加依頼



運動会でもひっぱりだこ



施設訪問



僕だってへっちゃらさ



ハロウィンでも人気者



赤い羽根に一役



大晦日のカウントダウン





祭りではもうすっかり準主役



他市のマラソンにも出かけます



買い物病院のほか



通学通勤にも



他市との勉強会も度々

○ 地域活性化事業

○ 運行協議会が既存の組織に劣らず、地域に必要とされる組織として

- ・災害対策会議、5者会議、盆踊り実行員会などに出席
- ・学校園(幼・小・中)の儀式にも参加



○ 伝統文化への支援

- ・各自治会等におけるイベントに参加
- ・出前盆踊り、缶バッジなど模擬店での支援
- ・幼稚園、小学校と協力して七夕作成





事務所では 連日模型作り



有料実験オーブンゲセレモニー



JR生瀬駅前



平成26年3月

厳粛な雰囲気の中で
運行の安全と運営の安定を祈禱してもらいました



運行開始式



平成27年10月



ぐるっと生瀬運行協議会
平成30年11月22日

ご清聴ありがとうございました

終